



オール専修の絆が より強くなるように

総長 日高義博

ひだか よしひろ 1948年宮崎県生まれ。70年専修大学法学部卒業。75年明治学院大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。88年法学博士。75年専修大学法学部講師、77年助教授、84年に教授。法学部長（2001～04年）、専修大学長（04～13年）、学校法人専修大学理事長（06～21年）、21年より学校法人専修大学総長。専攻は刑法学。

長引くコロナ禍の中、大学運営も非日常の連続ですが、育友会の皆様から多大なご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年11月、理事長退任後、総長推戴手続が進められ、12月16日付で専修大学第9代総長に就任いたしました。学校法人専修大学の統合の表徴として、建学の精神を護持すると共に、本学の更なる発展に寄与していく所存です。

大学改革の時代にあって、学長と理事長を兼務し、機動力のある大学運営を行い、様々な改革を行ってきました。建学の精神の下で教育を受けた学生は、卒業後、社会の様々な分野で活躍しています。大学

の建学の精神は「社会に対する報恩奉仕」であり、21世紀ビジョンである「社会知性の開発」はその具体的な目標です。このビジョンは、学生・教職員だけでなく、卒業生も保護者の方々も共に力を合わせることで、具現化されるものです。育友会の皆さんも、オール専修の輪の中にあります。育友会と校友会は「大学運営の車の両輪」であり、人間性豊かな専修人の育成には、多方面からの愛情と支援が不可欠です。そして建学の精神は、教育・研究の指針にとどまらず、オール専修の絆の核になるものです。オール専修の絆がより強くなるように、総長として尽力してまいります。今後ともご支援・ご協力の程、宜しく願いいたします。